

入会申込書の記入についての注意と申込方法

入会申込書は、下記の書式に従い必要事項をご記入のうえ、一般社団法人日本建築構造技術者協会事務局(〒102-0075 東京都千代田区三番町24 林三番町ビル)宛に封書でご送付ください。なお、入会申込書は正会員・一般会員用と学生会員用の2種類用意しています。

①会員種別欄は、正会員・一般会員・学生会員のいずれかを○で囲んでください。

・正会員の入会資格

次の(イ)又は(ロ)の条件を満たす個人

(イ)構造設計一級建築士

(ロ)建築構造の設計、工事監理等に関わる業務※の実務経験が、4年以上の一級建築士又はそれと同等以上の知識・能力を有すると理事会が認めた個人

・ただし、(ロ)に該当して入会をしようとする者は、正会員1名の紹介が必要です。(紹介者がいない場合は、本部事務局へお問合せ下さい。)

・一般会員の入会資格

建築構造の設計・監理等に関わる業務※に携わる個人

・学生会員の入会資格

建築構造を専攻している学生、大学院生

なお、正会員の要件を満たす者は、正会員としての入会は認められますが、一般会員又は学生会員として入会することはできません。

※建築構造設計・監理のほか、建築構造の関わる、特定専門分野での設計・開発・研究、教育、審査・行政、ソフト開発などが含まれます。

②氏名欄は、姓と名にわけてご記入ください。フリガナ欄は、必ずカタカナでご記入ください。

③生年月日欄は、西暦年を使用し、マス目に年月日をご記入ください。

④勤務先は正式名称を各欄にわけてご記入ください。株式会社は(株)、有限会社は(有)、とお書きください。学生会員の場合は在学先を記入してください。

⑤区分欄は勤務先の区分をA・B・C・Dの該当するところを○で囲んでください。Dを囲んだ方は()内に業種をご記入ください(例:役所・学校・公益法人・不動産・出版・鉄工所・材料メーカー等)。A・B・C・Dの業種区分は、勤務する会社又は機関の主たる業務を示します。

〇〇不動産(株)一級建築士事務所設計業務をされている方の場合、A又はBではなく、Dに○をつけてください。

⑥、⑦欄の記載は都道府県名から正確にご記入ください。

⑧E-mailは、ブロック体ではっきりとご記入下さい。

⑨機関誌等送付先およびE-mailの配信先をそれぞれ○で囲んでください。

⑩学歴欄の最終学歴は大学院を除く最終卒業校名、学部・学科名をお書きください。(例:東西大学・工学部・建築学科) 卒業年を間違える人が多いので、ご注意ください。

⑪学位欄は博士号をお持ちの方のみご記入ください。さしつかえなければ、論文名、学校名もご記入ください。

⑫一級建築士登録番号は最終数字を末尾のマスにあわせてください。登録年月日は西暦年でご記入ください(構造設計一級建築士も同様)。また、**必ず登録証のコピーを添付してください。**

⑬建築関係入会団体名のうち学会、協会等は○で囲んでください。建築士会は____の上に都道府県名をご記入ください。

⑭技術士(建設部門)、一級建築施工管理技士、PE、SEなど

⑮職歴欄は、単に社名、部課名のみでなく構造設計・監理の関わり・期間が判るようにご記入ください。また、賞罰は、「1年以上の懲役又は禁固の刑に処せられた場合」又は「建築士法に基づく業務停止処分等を受けた場合」にご記入ください。

職歴欄記入例 (さしつかえない範囲で余白に得意技(ワザ)をご記入ください)

1988年4月～90年3月 ○〇一級建築士事務所(構造設計・監理担当)

1990年4月～95年8月 ○〇建設(株)福岡支店設計部(構造設計)

1995年8月～99年6月 ○〇建設(株)技術研究所(構造実験室主任)

1999年6月～現在 ○〇建材(株)構造部材開発部(開発課長)